

平成29年度経営発達支援事業成果報告（29.4.24 評価会議、4.27 役員会、5.24 総会にて承認）

I 経営発達支援事業の内容

I - 1 地域の経済動向調査

28年度までに取り組んだ経済動向調査（アンケート）や各種経済情報（岩国市・山口県・RESAS など）をまとめて事業所へ情報提供（HP掲載、会報「ぎゅっとやましろ」掲載など）

作成者：土井一海中小企業診断士

【今後の取り組み】

- ・作成した内容を個別の相談案件で活用するパターンづくり
 - ・事例研究を通じた活用頻度の向上
- 小規模事業者の課題解決につなげていく

I - 2 経営状況の分析

取組		28年度	29年度	30年度
1	経営分析に関する巡回訪問（目標）	140件	143件	146件
	実績	319件	348件	
2	経営分析セミナー開催数（目標）	4回	4回	4回
	実績	4回	19回	
	1回あたり参加事業所数（目標）	4事業所	4事業所	4事業所
	実績	3事業所	2事業所	
3	経営分析件数（継続事業所）（目標）	41件	66件	107件
	実績	41件	66件	
4	経営分析件数（新規事業所）（目標）	20件	20件	20件
	実績	25件	38件	

※分析については、①中小企業診断士による個別相談会②事業承継関係の専門家活用③マル経融資時の分析④ローカルベンチマーク財務諸表分析 等実施

【今後の取り組み】

- ・「ローカルベンチマーク」による分析結果
- より多くの事業所に向けてフィードバック（数値、グラフ等で財務の現状がわかる）
- ・「地域経済動向調査」を事業所の実態と照合
- 業界動向や地域全体からとらえた事業所の現状を考察

I - 3 経営計画の策定支援

取組		28年度	29年度	30年度
1	経営計画策定に関するセミナー・相談会開催数（目標）	6回	7回	8回
	実績	10回	28回	
	支援事業所数（目標）	6事業所	7事業所	8事業所
	実績	13事業所	31事業所	

2	経営革新・農商工連携等（目標）（経営力向上計画）	4 事業所	4 事業所	4 事業所
	実績	2 事業所	5 事業所	
3	持続化補助金等採択件数（目標）	20 事業所	20 事業所	20 事業所
	実績	7 事業所	5 事業所	
4	経営計画策定支援件数（継続事業所）（目標）	37 事業所	66 事業所	103 事業所
	実績	37 事業所	66 事業所	
5	経営計画策定支援件数（新規事業所）（目標）	20 事業所	20 事業所	20 事業所
	実績	29 事業所	38 事業所	

※計画策定支援については①持続化補助金の申請計画の策定②経営力向上計画の策定③マル経融資のための計画策定④中小企業診断士による個別相談会により策定 等の支援

【今後の取り組み】

- ・「後継者不足」「代表者の高齢化に対する事業承継への対応」が課題
→「早期の事業承継」「第三者への引継ぎ」につながる「企業診断～承継計画」作り支援に取り組む
- ・計画が具体化し中長期的に新たな商品・サービスの展開
→「経営革新計画」の策定支援や「先端設備導入」に関する支援

I - 4 経営計画策定後の実施支援

取組		28 年度	29 年度	30 年度
1	経営計画策定後のフォローアップ件数（目標）	280 件	286 件	292 件
	実績	315 件	367 件	
2	経営計画策定後の個別相談会開催件数（目標）	7 回	7 回	7 回
	実績	11 回	7 回	
	新規事業所数（目標）	11 事業所	12 事業所	13 事業所
	実績	11 事業所	19 事業所	

※フォローアップについては①日々の巡回による現状把握②持続化補助金関係フォロー③各種計画策定後のフォローの継続実施

【今後の取り組み】

- ・全体では補助金申請や融資斡旋を急務とした相談が多い
→計画の実施状況や目標から大きく乖離していないかなどを確認し、「PDCA サイクル」を回し計画を見直していく

I - 5 需要動向調査

取組		28 年度	29 年度	30 年度
1	需要動向調査のための巡回訪問件数（目標）	140 件	143 件	146 件
	実績	319 件	348 件	

※域外での物産展開催時に来店客アンケートを実施し需要動向を調査する。その結果を出店事業所へフィードバックしていく。

第 1 弾として 2/17-18 開催の「岩国市観光物産展（東京・浅草）」にて実施

【今後の取り組み】

- ・「地域外」だけでなく、「地域内」「近隣市町村」で開催のイベントに出展時もアンケート調査を実施
→多様化する顧客ニーズ及び消費性向について幅広く情報提供していく

I - 6 新たな需要の開拓に資する事業

取組		28年度	29年度	30年度
1	ホームページによる事業所情報発信回数（目標）	100回	102回	103回
	実績	128回	205回	
2	ホームページの閲覧者数（目標）	2000人	2020人	2040人
	実績	3579人	2540人	
3	イベント回数（目標）	11回	12回	13回
	実績	18回	16回	
4	イベント出店者数（目標）	50事業所	52事業所	54事業所
	実績	63事業所	70事業所	
	売上高（目標）	300万	312万	324万
	実績	544万	596万	
	来店者数（目標）	5000人	5200人	5400人
	実績	×	×	

※ホームページについては、当商工会HP・Facebookを活用して情報提供など行っている

※イベントについては「やましろ地域」の夏・秋開催のもの「山口県内」「広島圏」「東京」で開催されたものに出店している

【今後の取り組み】

・自社で有する人的・物的資源が少ない小規模事業者の販路開拓支援

→岩国市観光物産展への出展支援 + 来場客に向けた需要動向調査の実施、調査のフィードバック

・「やましろブランド」認定品のポスターパンフレット等の制作

→販促品として有効活用することで、広報支援に取り組む

I 経営発達支援事業における評価委員からの意見、改善点など

・具体的な支援効果がわからないので具体的事例を提示して行ってほしい

→評価会議は全体の実績に対して評価していただき見直す場ではあるが、次回会議以降ではできるだけ事例をあげられるようなプレゼン方法に変更していく。

また、事例については巡回時や会報等で細心の注意を払いながら周知していく事で、経営計画策定の重要性等を周知、PRしていき更なる件数の向上につなげていく。

・浅草物産展のアンケートを見ている中で、それぞれの素材に対する説明（歴史、特徴など）が十分でないのではないか？今後出展時にはこの点も説明してもらいたい。

→出品物は加工品が多く店舗任せになっていた部分もある。また、出展時はスライドによる商品説明を行っていたが、その原料素材までは資料として流してなかったので、今後の出店の際にはスライド等の改良も行い、素材の説明もしていく。その点もこのアンケートで分かったことはよかったのではないかとと思われる。

・持続化補助金については不採択の事業所へのフォローを行い、20件という目標を達成するには再度の働きかけが必要である。

→現在、巡回や会報、様々な会議などで持続化補助金についてはPRを行っている。5/18日の申請期限をめざし、目標達成に向けて取り組んでいる状況。

※30年度目標数値については変更なし

II 地域経済の活性化に資する取組

II - 1 山代地域ブランド開発事業

取組		28年度	29年度	30年度
1	やましるブランド認定数（目標）	3件	5件	7件
	実績	5件	9件	
2	やましるブランド検討会議開催数（目標）	3回	3回	3回
	実績	3回	3回	

※やましるブランド認定事業（現在認定商品数：14品）

①平成28年度認定商品（5商品）

商品名	事業所名
黒まいんシリーズ	(有)堀江酒場
がんねマロンパイ	コンデイトライ HAKU
こんにゃく丼の具	やましる産業振興センター
がんね栗マロンパイ	(企) がんね栗の里
べっぴんアイスクリーム	やましる商工会女性部

②平成29年12月19日認定商品（3商品）

商品名	事業所名
がんね栗衛門	(企) がんね栗の里
奥岩国ほんごうのヤーコンジャム	本郷特産品加工販売組合山代の里
わさび漬け	錦清流グループ

③平成30年2月15日認定商品（6商品）

商品名	事業所名
石坂のこんにゃく	石坂商店
奥岩国ほんごうのこうりもち	本郷特産品加工販売組合山代の里
本郷むら茅原のとうふ	なかた豆腐店
しっとりふわふわ米粉のしふおん	山の菓子工房
本格くり焼酎がんね	美和町栗焼酎販売協力会
べっぴんまんじゅう	三家本錦月堂

- ・「本家松がね」にて有料試食（7月～1,148個販売）→べっぴんアイス
- ・ふるさと応援寄付特典協力企業→べっぴんアイス、こんにゃく丼の具
- ・山口県特産品振興奨励賞→黒まいん、べっぴんアイス
- ・バイヤーズセレクション受賞→がんね栗マロンパイ
- ・「ニッポンセレクト.com」（全国商工会連合会販売サイト）に登録、販売→べっぴんアイス、こんにゃく丼の具
- ・「FAM'S キッチンいわくに」にて販売→各商品

○29年度各種イベント、物産展における「やましるブランド」販売状況

イベント名	売上金額（円）
山代夜市（本郷）	8,976
美川サマーフェスティバル（美川）	9,588
美和サンチャロウまつり（美和）	43,830
本郷ふるさとフェスタ（本郷）	26,180
美川ふるさとまつり（美川）	25,690

にしきふるさとまつり（錦）	33,830
マツダスタジアム物産展（広島）	23,000（前年比 205%）
マリーナホップ物産展（広島）	20,550
ニッポン全国物産展（東京・池袋）	102,100
やまぐち・とっとり物産展（広島）	105,909
岩国市観光物産展（東京・浅草）	164,689

【今後の取り組み】

- ・ブランド対象を「加工食品」に限定しているが、地域内のアイテムに限りがある
→食品以外でのブランド認定を検討していく
- ・販促支援に加えて需要と供給、在庫のバランスを考慮した供給体制の支援
→「地域動向」や「需要動向」調査結果を提供することで適正在庫の確保と品薄状態の解消を目指す

※その他の取り組み

「錦川観光協会」、「美和町観光協会」にてドローンを活用した観光 PR 動画の作成
(youtube に動画をアップしている。商工会 Facebook でも PR、中国新聞の記事になる予定)



Ⅱ 地域経済の活性化に資する取組における評価委員からの意見、改善点など

- ・「やましろブランド」は年々増加しているが、品質維持管理はブランドイメージを落とさないためにも必要だと思うので、委員によるモニタリング等の調査を実施してはどうか？
→本年度の「山代地域活性化検討会議」にてどうしていくか検討する
- ・「やましろブランド」認定事業所も高齢化している事業所もあり、継続した供給が難しいので承継してもらえる事業所が必要
→経営分析から計画策定等を事業承継に注力して支援することで当課題を乗り越えていきたい
- ・現在青年部（錦支部）による特産品開発の動きがあり、良い取り組みだと思う。地域の特産物を活用したものが望ましい
→この取り組みについては、職員としてもできるだけの支援をできればと考えている。（青年部担当の室田、重國を中心に支援）
- ・ロットが少ないものは地域限定（地域を来訪する人等）で販売してはどうか？
→これらについては、今後どのイベント物産展にどの商品を持っていくべきかなども総合的に検討していく必要がある。
- ・米軍基地向けに何か取り組む予定のことはないか？
→県の事業を活用して、米軍広報誌「プレビュー」や「星条旗新聞」への記事（広告）掲載や英語対応のためのおもてなしシー

ト、里の駅サイクリングマップの英語版の作成等を予定している。

※30 年度目標数値については変更なし

Ⅲ 支援力向上の為の取り組み

Ⅲ - 1 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウなどの情報交換に関すること

経営支援全般	玖珂ブロック商工会広域協議会による研修会の開催 ・接客サービスセミナー（主催：岩国西商工会） ・玖珂ブロック経営指導員会議
専門支援	専門家派遣事業の実施（ミラサポ専門講師派遣）
金融支援	日本政策金融公庫主催の「経営改善貸付推薦団体連絡協議会」による日本政策金融公庫岩国支店管内の商工会、商工会議所との情報交換
地域振興支援	山代地域活性化検討会議の開催

Ⅲ - 2 経営指導員などの資質向上に関すること

各研修会への参加	・中小企業庁の主催する研修 ・山口県が開催する研修会 ・中小企業大学校研修への参加 ・山口県商工会連合会が主催する研修
OJT研修	「やまし絆の日」の開催（原則毎月1回）

Ⅲ - 3 事業の評価見直しをするための仕組みに関すること

・中間報告会議

支援計画評価会議（中間報告）の開催（平成 29 年 12 月 19 日）→役員会にて報告（平成 30 年 2 月 13 日）

・事業の評価見直しの会議

支援計画評価会議の開催（平成 30 年 4 月 24 日）→やまし商工会役員会の開催（平成 30 年 4 月 27 日）

→やまし商工会通常総会にて報告（平成 30 年 5 月 24 日予定）→ホームページ等で公表

【今後の取り組み】

・地域の関係諸機関等の連携 + 職員の資質向上の取り組み

→中小企業基盤整備機構より専門家が毎月 1 回来会「経営計画策定に向けた勉強会」の開催。実在する案件について職員がより実践的で具体的な経営支援策を検討しスキルアップを図ると同時に小規模事業者への適切な支援を行う

Ⅲ 支援力向上の為の取組における評価委員からの意見、改善点など

・評価会議については予算等がなければ 2 回に 1 回は書面審査でもいいので、ブランド会議は何らかの形で開催してほしい

→今後の予算等の状況で会議の開催は決まってくる予定。

※30 年度目標については変更なし